

平成30年度
岡山県内におけるカワウねぐら調査報告書
(冬期調査)



集団で漁をするカワウ

日本野鳥の会岡山県支部

平成31年 1月

岡山県内における冬期のカワウのねぐら利用個体数調査

1. 目的

近年、個体数・分布域が増加・拡大し、農林水産業等に被害を与えているカワウについて、生息状況を把握し、今後の鳥獣被害防止対策の適正な推進のための基礎資料とする。

2. 調査の内容

県内の冬期カワウのねぐらを観察し、カワウの生息状況について調査した。

3. 調査の方法

(1) 調査回数及び調査時期

年1回（冬期）カワウの生息状況のモニタリングのため、ねぐらにおける個体数調査をカワウがねぐらとしている場所を特定しておいて冬期のカワウねぐら調査を12月中旬から1月上旬の間に行った。

(2) 調査場所

県内のコロニー及びねぐら

(3) 調査事項

カワウの個体数等

① コロニー及びねぐら入りしている個体数

② コロニー及びねぐらへ帰還してくる個体数及び飛来方向

なお、ねぐらへ帰還してくる日没前後の時間帯において個体数及び飛来方向等を調査しその記録を記した調査記録用紙は別紙「平成30年度 冬期のカワウねぐら調査結果 資料編」に示す。

4. 調査結果

本年度県内で冬期に生息するカワウの羽数は、5,125であった。

その内、吉井川水系で887羽、旭川水系で1,432羽、高梁川水系で849羽、そして海上部における海岸域で1,957羽の利用分布であった。

確認できたカワウのねぐら確認場所とカウント羽数を表-1に示す。

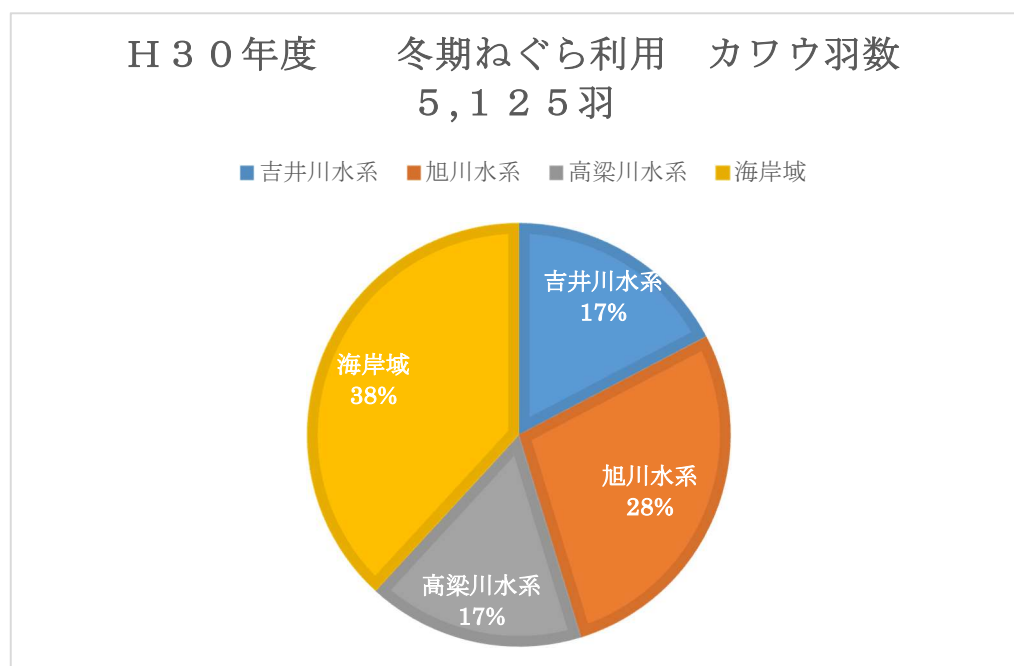
カワウのコロニー・ねぐら調査箇所は、41か所行い、その中で利用していた箇所は、29箇所であった。利用されていない箇所は、そのほとんどが繁殖期のコロニーとして利用していた場所であった。また、新たにねぐらとして確認された場所が3箇所見つかった。ねぐらとして特記すべき場所は、旭川水系の岡山市中区中原の三野公園前においては、昨年と比較して2倍強の2.16倍に増加し、979羽をカウントした。

表一 平成30年度 冬期ねぐらにおけるカワウ生息数調査

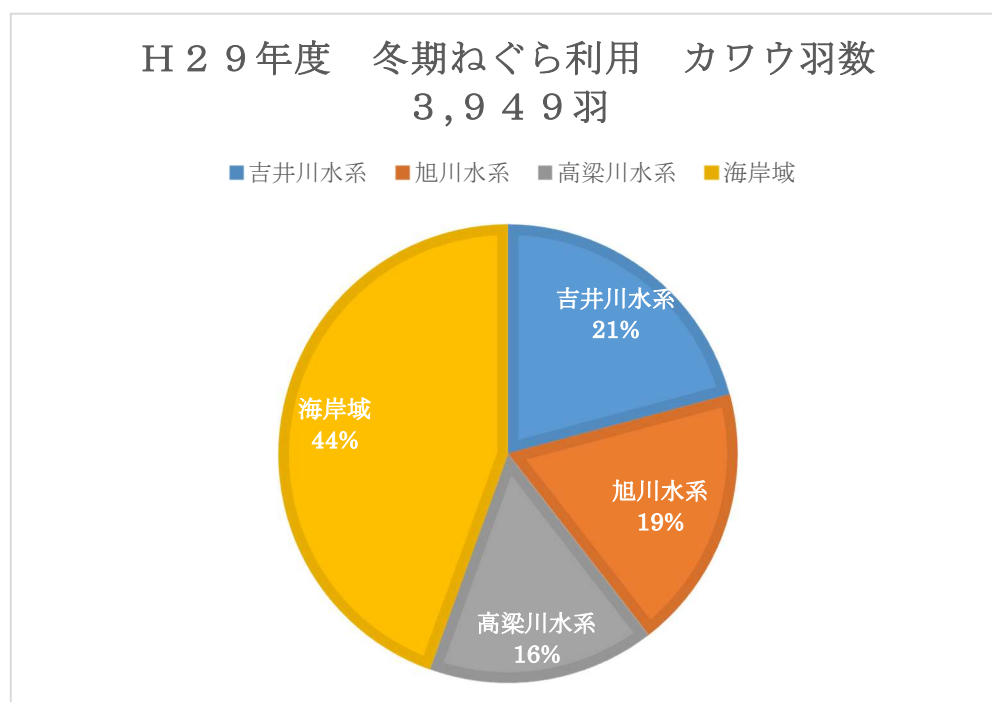
No.	河川名	ねぐら場所	調査日	本年の羽数	去年の羽数
1-1	吉井川	岡山市東区川口 中州 観音院対岸	12月15日	294	202
1-2	"	岡山市東区百枝月 豆田対岸	12月19日	202	314
1-3	"	赤磐市熊山勢力 山陽道橋下流	1月3日	64	41
1-4	金剛川	和気町藤野	12月20日	51	56
1-5	吉井川	和気町佐伯苦木	12月20日	6	0
1-6	"	和気町佐伯塩田 備作大橋下流	12月20日	0	0
1-7	"	和気町佐伯塩田 周匝橋下流	12月20日	48	36
1-8	"	津山市日上	12月24日	71	45
1-9	"	津山市宮尾 新錦橋上流	12月24日	86	86
1-10	広谷新池	津山市日本原 広谷新池	12月17日	0	0
1-11	吉野川	美作市青野 尾谷橋下流	1月5日	65	43
1-12	"	美作市岩辺	12月29日	0	0
1-13	切池	勝央町福吉 切池	12月29日	0	0
		吉井川 水系 小計		887	823
2-1	旭川	岡山市中区中原 三野公園前	12月22日	979	452
2-2	"	岡山市北区御津 中牧湯須	1月5日	21	19
2-3	"	岡山市北区御津 野々口	12月19日	0	0
2-4	"	岡山市北区御津川高	1月4日	0	5
2-5	"	岡山市北区建部町吉田 中吉橋上流	12月29日	76	109
2-6	旭川ダム	美咲町栃原 旭川ダム湖 浮桙上	1月4日	62	95
2-7	旭川ダム	美咲町西埴和 江与味橋上流	12月14日	0	0
2-8	旭川	真庭市落合町法界寺	12月25日	215	43
2-9	砂川	岡山市東区瀬戸町笹岡	1月1日	3	14
2-10	倉敷川	岡山市南区藤田 大曲	12月28日	28	記録無
2-11	二井大池	赤磐市桜ヶ丘西 二井大池	1月7日	48	記録無
		旭川 水系 小計		1,432	737
3-1	遊水池	倉敷市水島川崎通り 汐入川遊水池	12月15日	229	207
3-2	高梁川	倉敷市酒津 清音古地の対岸	12月19日	307	158
3-3	"	総社市福谷	12月22日	106	67
3-4	"	総社市槻 槻橋上流 山の林	12月21日	0	0
3-5	"	高梁市玉川町玉	12月17日	46	34
3-6	"	高梁市中井町西方	12月19日	0	0
3-7	成羽川ダム	高梁市備中町平川 新成羽川ダム湖	12月22日	0	0
3-8	河本ダム	新見市哲多町宮河内 河本ダム	12月19日	25	54
3-9	小田川	井原市木之子町	12月25日	0	78
3-10	星田池	井原市美星町星田 星田池	12月29日	34	35
3-11	蛭田池	井原市木之子町 蛭田池	12月28日	102	記録無
		高梁川 水系 小計		849	633
4-1	片上湾	備前市 片上湾 前島	12月18日	306	0
4-2	牛窓町	瀬戸内市牛窓町鹿忍	12月17日	255	187
4-3	千手大池	岡山市東区千手 千手大池	12月17日	0	0
4-4	水島灘	倉敷市児島通生 葛島	12月15日	286	187
4-5	児島湾	岡山市南区宮浦 高島	12月15日	1,062	1382
4-6	児島湾	岡山市南区阿津 鳩島	12月15日	48	0
		海岸域および河川以外の場所 小計		1957	1756
		県内41か所 冬期カワウ生息数 総計		5,125	3,949
参考:	児島湾	岡山市南区宮浦高島(12月15日と比較)	1月14日	1,325	263羽増加

各河川水系における出現割合を図－1に示す。

図－1 平成30年度 各河川水系における出現割合



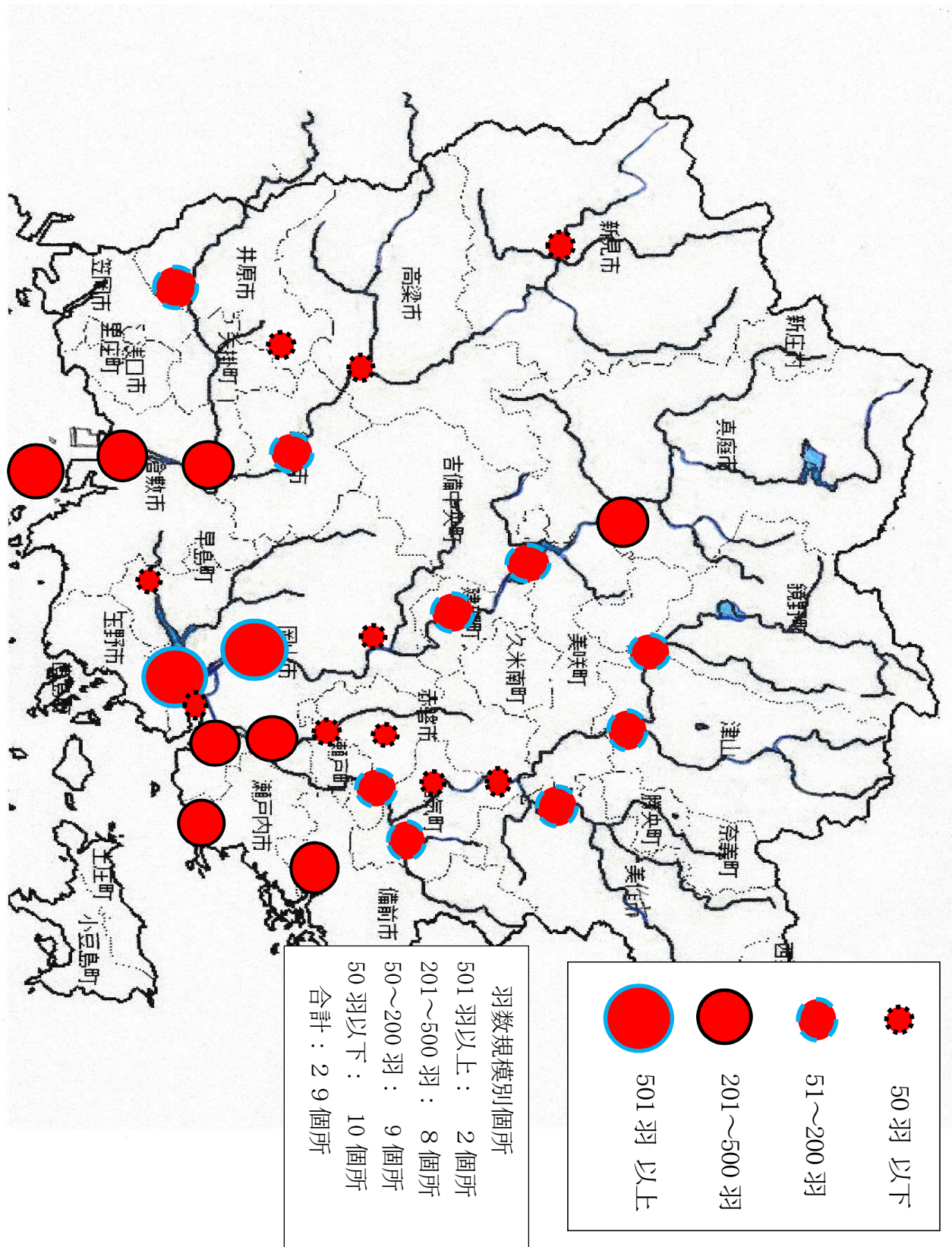
図－2 平成29年度 各河川水系における出現割合



昨年と比較して羽数が1,176羽も増加している。そして旭川水系で9ポイントも増加していることが特徴である。

確認された場所を図-3に示す。

図-2 カワウのねぐらが確認された場所



5. まとめ

平成30年度、冬期において岡山県内に生息するカワウの個体数を夕刻に「ねぐら」入りする羽数をカウントして調査した結果、総数 5,125 羽を数えました。

今年度、繁殖期春のコロニーでカウントした羽数は、**2,196 羽**でしたから **2,929 羽**増加していたことになる。この増加羽数個体は、冬期に県外から渡来したものと考えられる。

今回確認された冬期羽数は以前の調査と比較すると表-2となる

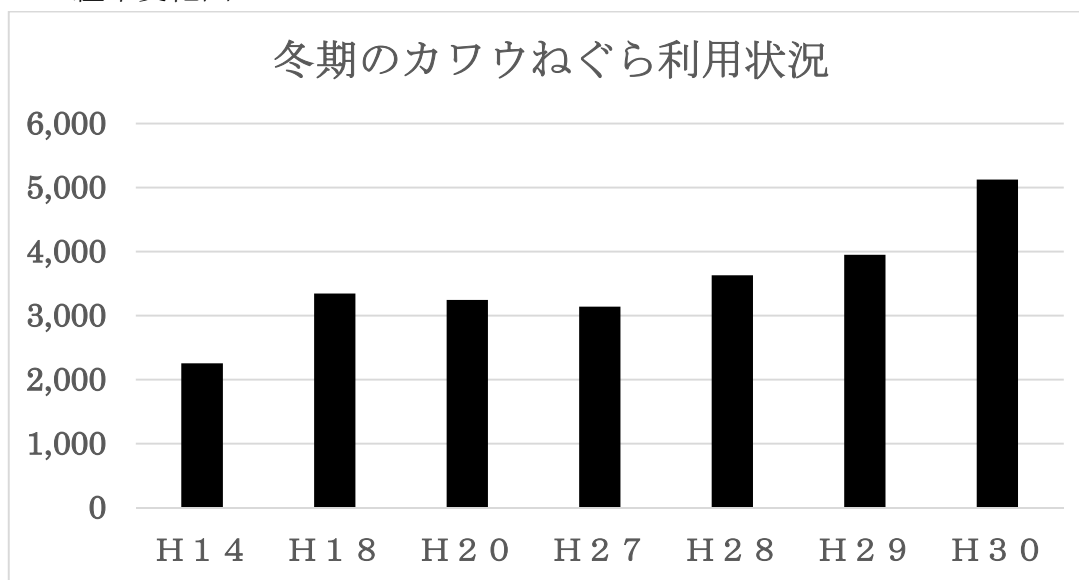
表-2

年度	H30 年度	H29 年度	H28 年度	H27 年度	H20 年度	H18 年度	H14 年度
羽数	5,125	3,949	3,629	3,140	3,245	3,344	2,251

の結果から、本年度の調査ではついに5千羽台を数えるに至っている。

特に、岡山市中区中原の三野公園前の旭川中洲での増加と海岸域ではどの個所でも増加傾向が見られた。

図-3 経年変化図



上記グラフで示すように、年を追って増加傾向に有ることが判る。

表-1に各ねぐらにおける昨年との比較数字を示したが、多くのねぐらにおいて増加傾向が見られた。また、繁殖期に利用していたコロニーをねぐらとして利用しない傾向があることも見られる。さらには、何らかの理由によりねぐら場所を変更した個所も新たに見つかった。今後もカワウに対して軋轢が加わった場合は、容易にコロニーまたはねぐらの場所を変えてしまうことも考えられる。

完